

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 日本食品化工株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 100-7012 東京都千代田区丸の内2-7-2	
本票作成	部署名：水島工場 生産技術課				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	でんぷん糖製造業、従業員約70名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島工場		倉敷市児島塩生2767-25	
特定事業者の該当要件	☒ ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 ☐ ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ☐ ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)	(令和 6)年度排出量	目標年度(令和 6 年度)
	50,020 t CO ₂	48,976 t CO ₂	49,485 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 6)年度排出量
	①	水島工場	48,976 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 令和 6 年度 ～ 令和 6 年度 (1 箇年度)			
	☒ 総排出量基準	(6)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	☐ 原単位基準	2.1 %	1.1 %	☒ 達成 ☐ 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

取り組みの効果により、化石燃料及び受電電力量を軽減し、目標達成に繋がりました。

【推進体制】

工場で推進委員長を中心としたエネルギー管理体制を整備し、省エネ推進委員会を年2回開催。又、工場別の状況を共有する為、全社の省エネ推進委員会も年2回開催している。ISO14001認証を取得済み。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島工場	(令和6年度実施分) ・工場最適オペレーションによる高効率生産 (CO2削減量170t/年) ・スチームトラップの点検補修 (CO2削減量12t/年) ・保温の熱画像診断 (CO2削減量5t/年) ・照明機器のLED更新 (CO2削減量2t/年) ・ポンプのインバータ化 ・圧縮空気の流量計設置 ・バイオマス燃料の比率改善など (今後実施予定分) ・効率的な生産計画によるエネルギーロスの削減 ・蛍光灯のLED化更新工事の継続 ・スチームトラップの点検整備 ・保温の熱画像診断による点検 ・新たなバイオマス燃料への取り組み

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	有	静岡県の工場において、市が主催する「富士山麓ブナ林創造事業」に賛同し、苗木の寄付及びボランティアとして植栽に参加。

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	バイオマス燃料の有効利用を継続中。
その他	無	

【その他特記事項】

ダイヤモンドリスponsプログラムへ参加を継続